

令和 2 年度 活動報告

令和 2 年度においては、コロナ禍のため若干の収入減はありましたがそんなに大きな影響を受けていません。しかし、プラントのハウスや作業用の設備・機械類、特に大型フォークリフトや大型攪拌機等が古くなり修理費などの維持管理費が嵩み、支出高となっています。

令和 3 年度は日頃の管理の大切さを痛感したことから点検と補修管理を最大の目標に実践していきたいと思っています。令和 2 年度は下記の活動を実施しました。

1 小学生への環境教育

- ・伊万里・立花・大坪・二里・山代西小学校の 3・4 年生（約 330 名）に対して、佐賀大学農学部の染谷教授の協力を受け、例年通り環境教育を実施しました。

2 生ごみ提供事業所の会員増およびステーション増設活動

今年度は 1 増 1 減となりました。市民の生ごみステーション増設活動は今年度も引き続きあさひが丘団地でモデル事業を実施しました。

3 農産物直売所「風道」の生産農家の拡大と堆肥の販売増

- ・農家会員増を目指しましたが、思うような拡大に至りませんでした。
- ・堆肥の方は、品質向上により販売先が佐世保、武雄、有田、多久、佐賀大和の他にも平戸、波佐見等にも広がるなど知名度も高まっています。

4 菜の花プロジェクト活動の推進

- ・いまり菜の花の会の協力を受け、環境杯グランドゴルフ大会「生ごみを宝に！地域を菜の花色に」を例年通り開催し、秋の大会の希望者には菜の花の苗とはちがめ堆肥を配布しました。
- ・市内の全保育園(23 園)に菜の花の苗とはちがめ堆肥を配布し、6 月には市民図書館で園児の図画展を開催。菜種油は給食に活用して食育をしながら併行的に市民の皆さんにも普及啓発を行いました。

5 今年も私達の活動が評価され、次の 3 賞を受賞しました。

- ・2020 年度持続可能な社会づくり活動表彰…公益社団法人環境生活文化機構理事長賞
- ・第 10 回毎日地球未来賞……………クボタ賞（準大賞）
- ・第 8 回エクセレント NPO 大賞……………組織力賞部門ノミネート